ルテ口行爲ヲナサシメ産業破壞ノ擧ニ出テ社会ノ治安ヲ紊乱スル脅威ヲ與ヘル等ソノ行爲ハ実ニ言語道断ナルモノガアツタ。此レニ対シ我党ハ国家産業擁護ノ立場カラ飽ク迄慎重ナル態度ヲ執リ罷業従業員ニ対シテ我国体ニ悖ル社会民主々義日本労働總同盟ノ非國民的正体トソノ恐ルベキ産業攪乱陰謀ヲ曝露シ我労働國民ノ眞ノ味方ハ彼等國際主義異端者ニ非ラズシテ祖國ヲ愛護スル日本主義者ナルコトヲ説キ一方会社ニ対シテハ家族主義ノ精神ニ基キ速カニ従業員ノ要求ヲ認容スルコトヲ観告シ一日モ早ク円満ナル解決ヲ計ルベク努メテ来タノデアルガ今回警察當局ノ要請ニテ該爭議カラ日本労働總同盟ガ絶対ニ手ヲ引クコトヲ條件トシテソノ調停ノ労ヲ一任セシ所當局ノ誠意アル斡旋ニテ我党ノ主強ノ如クソノ目的ガ達成サレ爭議ノ解決ヲ見タルハ眞ニ同慶ニ堪ヘガル次第デアル。乍併、共産主義悪流ナル社会民主々義ノ徹底的排撃ハ我々日本国民ガ信念的ニナラネバナラヌ重大任務デアル。我党ハ今後友誼団体ト共ニ益々国体明徴ノ貫徹ヲ期シ、日本労働總同盟ヲ始メ社会民主々義諸団体ノ徹底的排撃斗爭ヲ敢行スルコトヲ茲ニ闡声明スルモノデアル。

昭和十年拾二月拾三日

大日本生産党労働部
爭議対策委員會

財團法人 協調會名古屋出張所

名發調停第　號

昭和十年十二月廿六日

名古屋出張所長　大澤逸

協調會勞働、教務課長

町田辰次郎殿

久保田製作所紛議防止ノ件

勞務理事
勞働課長
事務

292